

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013/06/23 世界の問題を学ぶ事業  
2013/08/20 - 08/25 プラン構築事業  
2013/10/12 - 10/13 プラン実行事業

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

46名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

ベナン共和国領事館・カンボジア領事館  
株式会社マイファーム・コペルニク  
日本国内 26 大学  
大阪周辺の 国際交流団体・NGO・NPO 36 団体  
大阪大学大学院 国際公共研究科 星野俊也 教授  
大阪大学大学院 国際公共研究科 バージル・ホーキンス 准教授

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

87528

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

極度の貧困と飢餓の撲滅

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

選考により参加する学生、大阪に住む人びと

Objective 目的

説明：(例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

我々 J C I 大阪は、大阪に住む人々に極度の貧困に陥っている人びとの存在を知ってもらい、問題に対する解決への道筋を知ってもらいます。またこれにより、身近に存在する問題の解決が、世界の問題を解決する事につながる事を認識させ、自らが問題の解決に主体的に取り組む市民 (ACTIVE CITIZEN) を創り出すことを目的とします。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

我々 J C I 大阪は、大阪のまちに住み暮らす人々を、世界の諸問題の解決につながる身近な問題を解決する市民にするために、以下の事業を行った。

事業テーマ：CIRCLE OF CARE ～良心の輪をつなげよう～

議題：食から派生する様々な問題を解決する仕組みを構築する

【プログラム内容】

①我々 J C I 大阪は、学生平和会議を実施し、次代を担うリーダーとなりうる大学生たちと世界の諸問題について理解を深めた。

②我々 J C I 大阪は世界の諸問題の中からテーマを設定し、持続発展可能なアクションプランを、参加学生が作成することをサポートした。

③我々 J C I 大阪は、学生の作成したアクションプランを大阪市民に発表する場を設け、多くの人々に世界の諸問題の解決について考える機会を与えた。

④我々 J C I 大阪は、大阪市で世界平和や国際交流に関する活動をしている団体と連携し、問題の解決に取り組んでいく意識を共有した。

⑤我々 J C I 大阪は、参加学生が大阪市の市民参加イベントでアクションプランを実行する機会を与え、より多くの大阪の人々に身近な問題の解決が世界の諸問題の解決につながる事を認識させた。

#### Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

我々 J C I 大阪は、大阪の市民が社会の一員として世界の諸問題を解決する事に前向きに取り組む意識を持つ機会を提供した。

50名の学生の参加から始まったプランが、350名の大阪市民へ拡がり、最終的には2万人以上が参加するイベントにてアクションプランを拡げた。

結果として、多くの大阪市民に以下の世界平和に対する意識を拡げる事が出来た。

①世界には様々な問題が存在することを知り、その問題への関心が高まった。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：88.9%

②世界の様々な問題が自身の生活環境とも関係していることを知ることができた。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：91.7%

③世界の諸問題解決の為に取り組む学生の考え方について共感できた。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：94.4%

④より良い世界にするには何をして行けばよいか想像することができた。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：80.5%

⑤苦しんでいる人びとの為に何かできないかという気持ちは高まった。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：97.2%

⑥チャンスがあれば自身ができることを行おうという気持ちは高まった。

<アンケート結果>

高まった・やや高まった：88.9%

Actions Taken 行動

説明：

2012年12月 企画会議

2013年1月 世界の問題事前調査

2013年2月 テーマの決定&募集要綱決定

2013年3月 各種団体への協力要請

2013年4月 参加学生募集開始

2013年5月 参加学生選考

2013年6月 参加学生プレセミナー実施

2013年7月 メインフォーラム参加団体募集・決定

2013年8月 参加学生6日間の世界学生平和会議実施・アクションプランの発表

2013年9月 作成されたアクションプランを実行に移す準備

2013年10月 大阪市民参加イベントにてアクションプランの実行

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

日本では世界で貧困に喘ぐ人びとに対する奉仕の意識が低い。しかし、それは無知からくるものであり、潜在的にそのような問題へ取り組む精神は持っています。

当事業は MDGs に示された目標の 1 つへの推進を通して普段の生活から世界を変えていく意識を育んでもらいます。

#### 1. 長期間にわたるプログラムの連携の実現

選考後の課題実施、プレセミナー、世界平和会議事業、全体事業への参画を含め、一貫したアプリケーションテーマに取り組むことで 1 年を通じた意識変革をうながしました。

#### 2. 繰り返し行動する活力の醸成

繰り返し行動する為の活力は、具体的体験や目的感のある共同作業によって高い達成感を得ることにより醸成されたと考え、世界平和会議において作成したアクションプランを実行に移す機会を提供することにより成功体験を獲得し、繰り返し行動する為の活力を醸成しました。

#### 3. 広い範囲にわたる人びと・団体の参加と連携

事業の成果は、対象者の学生に高い行動意欲を生みだすことを X 軸とした場合、事業を通してまちに住む人びと・各種団体の参加度合いを Y 軸とし、その積にて表現されます。より沢山の人びと・団体に参画してもらえるオープンな事業を実施しました。

ページ3

部門 Best Local UN MDG Project

Objectives, Planning, Finance and Execution 目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

国家や地域という境界を越えて地球規模で複数の社会とその構成要素の間での結びつきが強くなる現代社会において、若者が必要とする感性を養ってもらうことを目的とします。

【養う感性】

1. 世界の問題を自分のこととして考えることができる
2. 世界の問題に対し持続的な解決プランを創造することができる
3. 考えを実現に移す為の行動プランを構築することができる

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

「CIRCLE OF CARE」(当事業)は下記の JCI 行動計画に合致している。

A.IMPACT.(より良い影響)

MDGs の 1 つの目標に対して関わる意識を地域の人びとに広める活動である点

B.MOTIVATE.(意欲)

参加する学生自身の行動意欲を高め、よりグローバルな世界へと関わる意識を生みだす点

C.INVEST.(投資)

参加する学生が次世代のリーダーとして他者に影響を与える人材と育て更なる運動を拓ける為の投資である点

D.CONNECT.(つながり)

当事業に参加した者同士が切磋琢磨する持続的に高めあう関係となる点

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？

■対象人数の拡大

交通費・宿泊費・会場費・講師費用を綿密な計画により、前年度と同一予算で、選考した参加学生を 4.6 倍の学生を招待することができた。

・ 2012 年度 10 名⇒2013 年度 46 名

■長期に渡る意識変革

公共の機関の活用、物資の協賛により、前年度と同一予算で事業の回数を増やし、長期に渡って意識を変革できた。

・ 2012 年度 1 回⇒2013 年度 3 回

■ 原体験の提供

事業にて創り出したアクションプランを多くの人びとに発信する機会を提供することに予算を充てた。

全体に占める上記の割合=41.8%

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は JCI のミッションとビジョンを推進しましたか？

JCI のミッションとビジョンを推進する為に、MDGs の目標に取り組むことを通じて対象となる学生への行動の機会を提供することで次世代のリーダーを開発した。そして参加した学生が、その後継続的に作成したプランを実行に移したり、様々な社会貢献活動において活躍しています。これにより JCI ビジョンの達成に向け推進出来た。

※画像 4 つ必要

### Membership Participation 会員の参加率

How did the Local Organization measure community impact for this program?  
事業のスタッフは何人？

443 名

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は？

45%

Describe the main roles of the participating members in this program  
このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

#### ■ファシリテーターの役割

グループワークの進行・議論に対して中立な立場を保ちながら話し合いに介入し、議論をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割を担う。

#### ■伴走者の役割

各グループに対してファシリテーターの補佐として関わります。ファシリテーターが全体を調整するのに対し、伴走者は担当グループに寄り添い参加学生のフォローを行う役割を担う。

#### ■プレゼンテーション評価者の役割

参加学生が構築したアクションプランのプレゼンテーションを聞き、企業家・経済人としての意見や質問により、実現可能な仕組みであるかという観点において、学生に



気付きを与える役割を担う。

※画像4つ必要

ページ5

### Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this project?

どのように、LOMは、このプログラムのためにコミュニティへの影響を測りましたか？

#### ■事業への来場人数

継続して3回に分けて行う当事業において、1度参加頂いた人びとがさらに次の機会に参加頂くことが出来たかを検証。

#### ■アンケートの結果

3回の事業におけるアンケートの項目による意識変化の度合いを検証。

- ・ 世界の問題に対する関心の高まり。
- ・ 世界の問題に取り組む者への共感。
- ・ 理想の世界を想像する感性の高まり。

・自らが行動しようとする意欲の高まり。

#### ■専門家による考察

大阪大学大学院 国際公共研究科 星野俊也教授 バージル・ホーキンス准教授による客観的な立場による地域への影響に対する率直な評価により検証。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

#### ■事業への来場人数

121名⇒367名⇒427名

事業が開催されるにつれて来場される人数が増加し、数値的にまちの人びとの持つ意識が上向いていることが検査された。

#### ■アンケートの結果

- ・世界の問題に対する関心の高まり。⇒91%UP
- ・世界の問題に取り組む者への共感。⇒97%UP
- ・理想の世界を想像する感性の高まり。⇒82%UP
- ・自らが行動しようとする意欲の高まり。⇒91%UP

#### ■専門家による考察

貧困に苦しむ世界の人びとの為に、一人ひとりができることを考えるという難しい課題に、参加した学生たちが熱心に議論し、行動に移した。その成果は、子どもたちに食べ物大切さを考えさせる食育ゲーム、教育テキストや私たちの毎日の食生活を振り返らせるスマートフォンのアプリの開発など、アイデアのたくさん詰まったプログラムをまとめ行動に移した姿はまちの人びとの食を大切に思う意識を高めることができたことだろう。

#### ■検証結果の考察

普段飢餓や貧困に対して意識することなく生活する人びとが、現実の問題やそれに関係するデータ、その問題に対して行動する人びとを目の当たりすることで、自らができることを行うことの重要性に気付くことができたと考察します。

※画像4つ必要

**Link with UN Agencies or Partnerships 国連機関または、協力者との関連** List any UN Agencies that participated in any way. Describe their involvement. (write N/A if none)  
どんな形であれ参加したどんな国連関係機関でもリストアップしてください。  
彼らとの関係を記述してください。 (何もなければ N/A と書きます)

N/A

List any other partners that participated in this program. (write N/A if none)  
このプログラムに参加した他のどのパートナーもリストアップしてください。  
(何も無いならば N/A と書いてください)

大阪周辺 国際交流団体・NPO・NGO 36 団体

大阪ユニセフ協会

(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

(公社)CISV 日本協会 関西支部

NPO 法人 大阪 NPO センター

コペルニク 日本支部事務局

ヒューマンノート

24 時間テレビ(読売テレビ)

ETC.

How were partners engaged to participate in the program?

パートナーはどのようにプログラムに参加すると保証されましたか？

大阪周辺で活動している国際交流団体・NPO・NGO など平和貢献活動についてプースを開いて頂き、自身の活動を来場者と触れ合う機会を創出することで、大阪のまちの人びとに世界中で行われている平和貢献活動を知り、他者を気遣い行動をすることの大切さに気づいてもらいました。

※画像4つ必要

ページ7

### Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

#### ■参加学生に対する影響

参加した学生がその後、企業に就職し、BOP(BASE OF PYRAMID)ビジネスに対する推進や新たなアイデアを活かし、当事業で得たネットワークを活用しそれぞれが考える取組みを拓けてもらうことで、彼ら自身がチェンジメーカーとして関わるたくさんの人びとの意識を変革していく人材として成長していくことが期待される。

#### ■まちの人びとに対する影響

参加した学生が考案したアイデアや創り出した教育資料や食育ゲームに触れることで、自身の行動を見直す機会を与え、親は子への教育のツールとして利用することで、無意識のうちに世界の問題への認知を拓げ、さまざまな団体・企業・行政の取組みへの正しい評価へ導くことが期待される。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

■ 伴走者の質向上

学生に対するより高い意識変化を促すためには伴走者の動きに関わって来ます。事業計画段階から伴走者となる委員会メンバーの選抜と意識付けを行い、世界の問題に対する知識を高め、問題への解決策へのより良いアドバイスを行うことで、学生の意識を短期間で高めることができます。

■ サポーターズクラブの設置

学生たちの当事業に参加した経験が人生においてかけがえの無いものとなるよう継続してサポートするような体制(サポーターズクラブ)が必要と考えます。その構成員としてまちの人びとや企業・団体が担うことで広く世界の問題を考える人が増えると考えます。

発展可能なプランを構築し、企業や団体が学生の作ったプランや参加学生に興味を持ちその企業や団体に就職し活躍し、さらに当事業を支援するような、持続発展的なプログラムへの成長が見込めます。

JCI 大阪とは独立させることで、年を跨いだ中での支援体制を確立することができ、1年を通した運動は永続的に広まっていく可能性が出てきます。

※画像4つ必要